

授業科目

栄養指導論Ⅱ

【担当教員名】 斎藤トシ子	対象学年	3	対象学科	健康
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【一般目標：G I O】

ライフステージ及びライフスタイルに応じた栄養教育プログラムの作成・実施・評価の総合的なマネジメントに必要な健康・栄養教育の理論と方法の修得を目標とする。

【行動目標：S B O】

1. 妊娠・授乳期の栄養教育の基本が理解できる。
2. 乳・幼児期の栄養教育の基本が理解できる。
3. 学童期の栄養教育の基本が理解できる。
4. 思春期の栄養教育の基本が理解できる。
5. 成人期の栄養教育の基本が理解できる。
6. 高齢期の栄養教育の基本が理解できる。
7. 障害者の栄養教育の基本が理解できる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	妊娠・授乳期の栄養教育（母性栄養の意義と特性、妊娠授乳婦の栄養所要量、妊婦栄養の問題点と指導の要点など）	1.	講義
2	乳児期の栄養教育（乳児期の栄養上の特性・乳児期の栄養所要量、乳児の栄養法、離乳など）	2.	講義
3	幼児期の栄養教育（幼児期の栄養上の特性、幼児期の栄養所要量、幼児期栄養の問題点と指導の要点など）	2.	講義
4	学童期の栄養教育（学童期の栄養上の特性、学童期の栄養所要量、学童期栄養の問題点と指導の要点など）	3.	講義
5	学校教育・学校給食と栄養教育	3.	講義
6	思春期の栄養教育（思春期の栄養上の特性、思春期の栄養所要量、思春期栄養の問題点と指導の要点など）	4.	講義
7	思春期の栄養教育（ダイエット及び摂食障害と栄養教育）	4.	講義
8	思春期の栄養教育（スポーツと栄養教育）	4.	講義
9	成人期の栄養教育（成人期の栄養上の特性、成人期の栄養所要量、成人期栄養の問題点と指導の要点など）	5.	講義
10	成人期の栄養教育（生活習慣病の予防・治療と栄養教育）	5.	講義
11	成人期の栄養教育（生活習慣病の予防・治療と栄養教育）	5.	講義
12	高齢期の栄養教育（高齢期の栄養上の特性、高齢期の栄養所要量、高齢期栄養の問題点と指導の要点など）	6.	講義
13	高齢期の栄養教育（寝たきり予防、QOL、介護と栄養教育など）	6.	講義
14	障害者の栄養教育（身体障害者の栄養教育など）	7.	講義

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	未定			
参考書	第六次改定日本人の栄養所要量	健康・栄養情報研究会	第一出版	1999年 ¥2,200+税
その他の資料	必要に応じてプリントを配布			

【評価方法】

出席状況、授業中の態度、定期試験から総合的に評価する。

【履修上の留意点】